

図書館通信

市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町 市塙147

TEL 0285-68-4380

URL <http://www.library.ichikai.tochigi.jp/>

としょかんのひとりごと

検索

ブログはこちら

11月の催しもの

★本を借りてゲームに挑戦！★(※先着30名)
「物語の世界で落とし物を探そう！」

日時: 11月4日(土) 9:30~11:45

場所: 歴史民俗資料館

内容: ダンボールの中は...物語の世界!?

頼まれた探し物を見つけよう!

※本を借りてゲーム挑戦券をもらおう!

★しょうちゃんと遊びま専科★(※要申込)
「どんぐりでトロを作ろう♪」

日時: 11月18日(土) 14:00~15:00

場所: 図書館2階企画研修室

講師: しょうちゃん先生

募集: 15名(小学校低学年は親子参加)

内容: どんぐりなどの身近な植物をくっつけて可愛い置物を作ります。

お問合せ先: 市貝図書館 ☎68-4380

★ダンボの会のおはなし会★

日時: 11月26日(日) 10:30~

場所: 図書館 おはなしコーナー

乳幼児から小学生まで、幅広く参加できるおはなし会です。一緒に、絵本の読み聞かせ・エプロンシアター・手遊び・折り紙などを 楽しみましょう。

ツイッターでも
情報配信中!



市貝町立図書館『いっとくん』
@ittokun_ichikai



★歴史民俗資料館の催し★

特別展「ミニギャラリー展」

期間: 11月25日(土)~12月24日(日)

※各教室・講座での素敵な作品が展示されます。



★蔵書点検無事終了★

10月に実施した蔵書点検、無事に終了しました。みなさんのご協力に感謝です。点検の様子などは裏面をチェック!!



★ちょこっとボランティア活動日★

日時: 11月12日(日)・25日(土)

14:00~15:30(好きな時間に来館OK)

対象: 高校生以上

内容: 本の整理作業や、プレゼント用小物・館内掲示物作成など



図書館カレンダー

(■...休館日) ※月末整理日

11月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	※月末整理日	

12月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	15	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	※年明け1/4より開館致します					

10月のイベントレポート

10月も様々な催しが行われましたが楽しんでいただけましたか？
これからも楽しいイベントをたくさんご用意していますのでおたのしみに！



本を借りてゲームに挑戦！ 「水ヨーヨーゲットだぜ Part2」

7日は本を借りてゲームに挑戦！
が行われました。

今回は「水ヨーヨーゲットだぜ Part2」
ということで好きな色のヨーヨーを上手に
釣り上げて楽しんだようでした！

「ダンボの会のおはなし会」

22日にはダンボの会の皆さんによるおはなし会が行われました！
楽しい読み聞かせや紙芝居では
みなさん真剣に耳を傾け、手遊び
や折り紙では楽しくあそんでいま
した！



【蔵書点検が終了しました】

10月3日(火)～6日(金)の間、蔵書点検のため、4日間休館させていただきました。ご迷惑をおかけいたしました。無事に終了しました。



一日目、二日目は資料のバーコードを読み取り、市貝図書館の蔵書としてきちんと登録されているか、正しい場所に配架されているか、不明な資料はないか、などの確認を行ないました。

三日目、四日目は書架の整理や不明資料の検索などをして図書館の整備に努めました。



その結果、今年度発見された不明資料は0冊でした。ご協力感謝いたします。

休館明けは400人を超える方々がご来館してくださいました。更に利用しやすい図書館作りに励んで参ります。これからも、どうぞよろしくお願いたします！

スタッフのおすすめ本



『向かい風で飛べ！』

乾ルカ // 著
中央公論新社



「一緒にジャンプやらない」

理子の笑顔に導かれ、さつきのスキージャンパーへの挑戦が始まった。向かい風は大きく飛ぶためのチャンス。この言葉を支えにダブルヒロインの奮闘する姿が描かれた青春&スポーツ小説。勝たなければプレッシャーや挫折との戦いの場面では、共感と応援で胸がいっぱいになりました。いつも背中を押されている人生はイヤ。逆境をチャンスと受け止め、じっくり力をためる。そんな生き方も学べます。

やっぱりスポーツっていいなあって思える、
これからの冬の季節にピッタリの1冊です。

しょうちゃんのひとりごと

私が若い頃新劇で見た博徒・番場の忠太郎を思い出す。幼い頃、生き別れた母を探す旅を続け江戸に向かう忠太郎。そしてある日、水熊の女将さんお浜と逢う。「上下の瞼を合わせじっと考えてりゃ、逢わねえ昔のおっかさんの姿が浮かんでくりゃあ」という名セリフ。たとえ、何十年経ったとしても生みの親はどこまで行っても親である。体中にいっぱいある血は双方とも同じものが流れている。血は水よりも濃いと長谷川伸氏の戯曲『瞼の母』は語っている。

横田滋さん・早紀江さん夫妻の手記を読むと、毎回「めぐみちゃん、こんにちは」で始まっている。『瞼の我が子』は13歳で止まっていて、歳月の仕打ちは計り知れないむごいものがある。北朝鮮側からは何年か前に「死亡」の通告があったが、そんなことは考えたくもない。そして、拉致被害者の高齢化も追い打ちをかけている。両親は一日でも早くと言っているが、救出も家族との再会も秒読みで進めてあげたい、と思うのは私だけではないはずである。テレビの報道を見るたびに、どうにかならないのか気が焦るばかりである。